

福祉情報コミュニケーションセンターにおける中核拠点機能について

令和元年6月7日に発表された「難聴児の早期支援に向けた保健・医療・福祉・教育の連携プロジェクト」における最終報告で、「各都道府県に難聴児支援のための中核拠点を整備する」ことが示され、国において、聴覚障害児支援中核機能モデル事業を実施することとした。



この報告を踏まえて、令和元年6月に関係の深い3部局の所管課の会議において、福祉情報コミュニケーションセンターが中核機能を担うこととした。
なお、令和2年度、大阪府は厚生労働省「聴覚障害児支援中核機能モデル事業」に採択された。



めざすべき方向性

福祉情報コミュニケーションセンターにおいて、聴覚障がい児と保護者に対し適切な情報と支援を提供するために、難聴児早期支援の中核機能を整備し、聴覚に障がいのあることがわかった乳幼児に係る相談支援や関係機関へのつなぎ、手話の獲得支援を行う専門人材の派遣などといった、支援機能の発揮を確実なものとしていく。